

教科の目標と観点及びその趣旨

目標 目的	韓国語とハングルの仕組みが理解できる。 ハングル文字を外国語の文字として認識し、読めてかつ意味が分るようになる。 韓国語で会話ができるようになる。	
観点評価	関心・意欲・態度	知識・理解
評価配分	20%	80%
趣旨	韓国文化に対して関心を持ち、自ら進んで学習することができる。	単語には「名詞」「動詞」「形容詞」があり、日本語同様に「助詞」があるので見慣れないハングル文字の仕組みを覚え単語を理解する。
評価方法	出欠状況、授業に取り組む姿勢、態度、忘れ物	定期考査

学習計画及び評価方法等

回数	授業概要	備考
1	韓国語について、韓国語の特徴・ハングルの仕組み	
2	ハングルの仕組み	
3	ハングルの仕組み	
4	ハングルの仕組み	
5	挨拶はいつでもアンニョンハセヨ	
6	母音を学ぶ	
7	母音を学ぶ	
8	子音を学ぶ	
9	子音を学ぶ	
10	子音を学ぶ 平音・激音・濃音	
11	合成母音を学ぶ	
12	パッチムを学ぶ	
13	自己紹介	
14	日常会話	
15	日常会話	
16	日常会話	
17	日常会話	
18	日常会話	
19	日常会話	
20	日常会話	
21	日常会話	
22	日常会話	
23	日常会話	
24	日常会話	
25	日常会話	
26	かたい文体	
27	かたい文体	
28	かたい文体	
29	かたい文体	
30	まとめ・試験	